

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390800106
事業所名	瑞穂やわらぎ苑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入しているが、回覧板が回ってくる程度で、日常的な交流は少ない。 利用者が地区の祭りの子供神輿を見物したり、建物内の英語教室に地域の子供たちが通ってくる等、限定的な交流はある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2ヵ月に1度、行政（地域包括支援センター）、地域代表等を招いて運営推進会議を開催していたが、昨年8月開催を最後に中断している。 管理者が法人の関連他施設の職務を兼務する事態が生じたことが原因である。	評価 ×
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 生活保護受給者を受入れているため、区・保護係の担当職員の定期的な訪問を受けている。 運営推進会議が中断しているため、行政職員の来訪は少なく、ホームの実情が行政に伝わりにくい状態にある。	評価 ×
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 運営推進会議や家族会議が中断しており、家族の意見・要望は主に電話による問い合わせ時に聴き出している。 聴きとった内容は運営に反映させるよう努力しているが、家族との間でトラブルもみられる。	評価 ×
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ × ×
総合評価		×

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	×	○	○	○	○	×		